

令和3年度 大阪府立登美丘高等学校 第3回学校運営協議会 記録

○日時：令和4年1月25日（火）

○場所：登美丘高校会議室

○出席者：藤井暢人（桃山学院大学経営学部講師）、薬師寺 広隆（第一ゼミナール金剛校 校長）、笈廣 啓史（同窓会長）、荒木 華子（PTA 会長）

○欠席者：平山 雄一（虹ヶ丘地区自治会長）、天野信治（野田中学校長）（敬称略）

○事務局：校長、教頭、古崎首席、益永首席、栗生進路部長

<次第>

1. 大阪府立学校における新型コロナウイルス感染症の状況報告

2. 報告

- (1) 令和3年度 進路状況について
- (2) 令和3年度 学校教育自己診断について
- (3) 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について
- (4) その他

3. 協議

・令和4年度 学校経営計画（案）について

○いただいた主な意見・質問等

・教育自己診断の数値目標について

数値の上下動はコロナなど外的環境にも左右されるので一概に一喜一憂できないが、学校として何を重視しているか。

→ 特に気にしているのは、保護者の「登美丘高校に行かせて良かった」の指数。94%の肯定評価をいただいております、ありがたく思っています。

・進路について

進路の評価について、本当は、卒業後も生徒の（その時点の生活における）満足度の追跡を行えばよいが難易度が高いと考える。

国公立の進学実績は、OBとしては気になるところ。継続して指導をお願いします。

塾の立場として、国公立を本当に受験したいというよりも、登美丘高校は、学校の雰囲気がいい、魅力的な先輩が多い、行事なども多く楽しい、制服がかわいいなどでめざす生徒が多い。その子どもたちが、次の進路、及び社会に出て行っても、十分に力が発揮できるような力をつけていただいて、そして子どもたちの（進路に関する）自己決定をしっかりとサポートしてあげて欲しい。

・令和4年度について

社会で活躍できる力（社会情動的スキル＝非認知能力の醸成）を核に、「基礎学力・観点別評価・ICT」を重点に、取り組んでいく計画。

保護者の立場としては、子どもが「府立の中で一番いい学校じゃないか」と満足しているので、行かせて良かったとした。保護者同士の情報交換では、子どもからの連絡や情報（通知を渡すなど）が中学に比べて減ってしまうので、ホームページやメールも含め、相互で保護者と連絡をとれる仕組みがあるとありがたい。

→鋭意検討します。

（座長まとめ）

コロナ禍の中での指導、大変な事と感じている。

評価及び振り返りを伺い、計画を考えるにあたって、数値はもちろん大切ではあるが、数値では表しにくい登美丘の良さ、また育てたい伝えたい魅力の言語化を続けて回り、生徒をめざす方向に導いて欲しい。

また次年度が100周年とのこと、教職員の皆さんで共通理解を図るにいい機会なので、情報共有、発信を密にしながらの計画推進を期待する。

* 令和4年度開催： 第1回令和4年6月21日（火）、
第2回令和4年9月10日（土）、
第3回令和5年1月24日（火）の予定